



～タイトル「玉燈」によせて～

「玉」は立派なものに磨きあげる、「燈」は教え、照らすを表し、「子どもへの愛育」と「情熱に満ち溢れる教師道」をイメージしています。また、「玉燈」は、郷土の先人 國友一貫斎の代表的発明品としても知られています。

「ラーケーションの日」 のすすめ

長浜市教育委員会事務局
課長 馬淵 康至

みなさんは、「ラーケーション」という言葉を聞いたことがありますか？「ラーケーション」とは、「ラーニング（learning：学習）」と「バケーション（vacation：休暇）」を組み合わせた造語で、愛知県の「休み方改革」プロジェクトの中で生まれた言葉です。「ラーケーションの日」とは、児童生徒が保護者等とともに、校外での体験や探究の学び・活動を行うことを目的とした休みを習得できる制度で、児童生徒は登校しなくても「欠席」扱いとはならず、年間3日（今年度は2日）まで取得可能です。愛知県発のこの制度は、現在、茨城県や山口県、大分県別府市や栃木県日光市といった県や市町が実施しており、長浜市においても今年度2学期から実施する予定です。

この制度のねらいは、①週末や長期休暇以外にも保護者と児童生徒と一緒に過ごす時間を増やすこと。②保護者の教育への関心を高め、保護者の教育力を引き出すこと。③児童生徒の主体性を高めるとともに、体験や探究活動を行うことで非認知能力の向上を図ること。にあります。

③非認知能力の向上については、「令和4年度青少年の体験活動等に関する意識調査（平成18年度から実施）」に、「小・中学生の場合は、自然・社会・文化芸術・交流・探究学習などの体験のいずれもが自立的行動習慣（自律的行動習慣に関する指標：自律性、積極性、協調性）の伸長に有効である」という分析結果も出ています。

このことから、「ラーケーションの日」は、「真の学力」を身に付けた子どもを育成するための大事な施策であり、この制度から生まれる新しい学びの機会

が、子どもたちの知識の幅を広げると同時に、家族との絆を深める貴重な機会になるよう願っています。

そのため、先生方には、保護者から「ラーケーションの日」について問い合わせがあった場合には、具体的な活動例を紹介するとともに、「家族と共に主体的に校外で学ぶ日」というねらいの部分を大切に説明をぜひともお願いします。

<活動例>

- 長浜市の史跡や博物館などを訪問し、ガイドさんや学芸員から詳しい話を聞く。
- 家の周辺に生えている植物や捕まえた昆虫を調べたり、農業体験を通じて食の大切さ、生き物の繋がりを学んだりすることで、自然環境への理解を深める。
- 登山やハイキング、キャンプなど自然に触れることで五感を使った体験をする。
- 美術、音楽、演劇などに触れ、感想を語り合う。
- 授業で学んだことを生かし、家の中で実験や料理、工作などの体験をする。

最後に、これからも長浜市は長浜スタイルの実践を広げ深めるとともに、自然や歴史に恵まれた教育環境を活かした体験学習等を通して子どもの「真の学力」の育成に力を入れてまいります。先生方にもぜひ「ラーケーションの日」を活用いただくとともに、これからも長浜市の子どもたち一人ひとりが豊かに成長することを応援していただければと思います。

令和6年度 長浜市教職員研修

つながりあい、学びあい、豊かに生きる
子どもをはぐくむための指導力向上を目指して



① 指定研修



教育研究発表大会

令和7年2月19日（水）午後

講師：工藤 勇一 氏

浅井文化ホールでの集合研修、
学校のライブ配信で参加するハ
イブリッド研修、オンデマンド
研修)

② 指定研修



授業改善研修

授業改善研修（小学校）

7月29日（月）午後

講師：藤村 裕一 教授

授業改善研修（中学校）

8月23日（金）午後

講師：澤井 陽介 教授

③ 授業やキャリアに関する研修

- ・ 校内研究（公開授業）
 - ・ 保育園参観研修
 - ・ 授業改善研修
 - ・ 学校組織マネジメント
 - ・ 道徳教育研修
 - ・ 学びの実験室
 - ・ 特別支援研修 など
- 全18研修

④ 自己啓発・専門研修

- ・ 学校DX研修
 - ・ ICT活用研修
 - ・ 学校事務研修
 - ・ 生徒指導研修
 - ・ メンタルヘルス研修
 - ・ 長浜市フィールドワーク など
- 全18研修

NEW

令和6年度 長浜市教育賞公募について

日々の教育実践を見つめ直し、成長につなげる挑戦をしましょう！
たくさんのご応募をお待ちしております。

3部門

- ① 学校・園実践部門 【個人・グループ】 教育論文
- ② 個人実践部門 【個人のみ（年齢制限なし）】 教育論文
- ③ ユース部門 【36歳未満】 ミニ論文

教育センターでは、本年度も保育・教育活動の充実に向けて研究を実施します

概要①

園小接続カリキュラム実践研究(2年次)

ー園小教職員のつながり深め、子どもの豊かな学びを未来へつなぐー

■研究の目標■

園小接続期カリキュラムの実施し、「目指す子ども像」に迫るために授業・保育の質を向上させることで、子どもの学びをより豊かなものへとつなぐことを目指す。

■長浜市園小接続期研究アドバイザー■

福井大学連合教職大学院教授 岸野 麻衣 先生

■研究協力校園■

北郷里小学校・北郷里幼稚園・さくらんぼ保育園

北郷里小学区では「子どもの『やってみたい』という主体性」を大切にした保育・授業の実践を通して、「心動かし、問いをもち、自ら遊びや学びに向かう子ども」「相手の話を聞き、自分の思いや考えを伝える子ども」を目指しています。



概要②

自分の考えを表現する力を高める国語科の授業づくり

■研究の目標■

国語科の授業において、ICT機器を効果的に活用しながら、必然性のある言語活動を設定することで、自分の考えを「表現する力」の育成を目指す。

■研究の仮説■

国語科の授業において、ICT機器を効果的に活用しながら、必然性のある質の高い言語活動を設定することで、発信・交流の対象が広がり、交流の質が深まり、課題追及への利便性が向上し、試行錯誤しやすくなり、自分の考えを「表現する力」が育成されるだろう。

■長浜市国語科研究アドバイザー■

京都女子大学教授 水戸部 修治 先生

■研究協員■

ご協力いただける方は教育センターまでご連絡ください。

✂切7月1日

登校支援グループからのお知らせ

不登校CO.会議がありました！

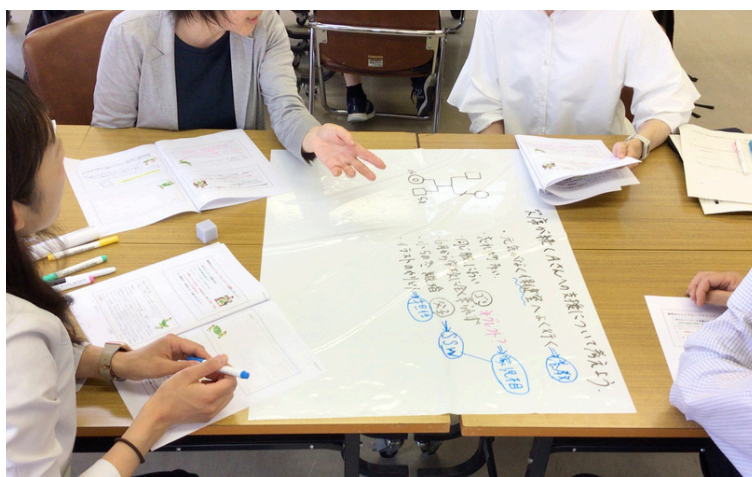


後半は長浜市SSWの西村先生に「子どものしんどさに寄り添いつながる支援」として研修をしていただきました。事例をもとに、4～5人のグループワークとしてミニケース会議に挑戦しました。アセスメント～支援のプランニングまでを実技演習しました。西村SSWより、家庭環境など子どもの背景から見立てていくことの大切さを学びました。

教育相談室より

5月20日（月）、不登校コーディネーター会議があり、各校より35名の不登校コーディネーターの先生方がお集まりくださいました！

前半は教育指導課と教育センター教育相談室より、不登校の現状と対策の推進についてお話をさせていただきました。



こどもサポートルーム なないろ のパンフレットが新しくなりました！

新パンフレットは、L-Gateを通じて先生方に配布いたします。ご活用ください！

教育相談

不登校などに関する相談をお受けしています。

教育相談室では、不登校や行きしぶり、学校への行きにくさを感じているお子さまの相談を受け付けています。

- ・「学校に行きたくない」と言う
- ・登校しようとするが体調が悪くなる
- ・朝起きることができない

など

お子さまのことについて、一緒に考えます。まずは電話でご相談ください。お待ちしています。来室を希望の場合につきましても、電話予約をお願いします。

教育相談・体験見学のお申し込みはお電話から

長浜市教育センター
教育相談室 登校支援グループ
TEL 0749-74-3702
電話受付…月～金曜日、8:30～17:00
(祝日、年末年始を除く)

こどもサポートルーム なないろ

子どもたちの居場所となる教室があります。

色々な理由で登校していない、またはたまにしか登校していない子どもたちを対象にした教室です。軽運動やボードゲーム、個々の力に応じた学習などの活動を通して、社会生活や学校生活に適應する力が身につくよう活動しています。

教室の一角

目標設定

学習支援

ゲーム

トーク

軽運動

体験活動

創作活動

「なないろ」では、お子さんの状況に合わせて活動内容や活動時間を工夫し、社会的な自立や学校への復帰に向けた支援を行います。体験見学もお受けしています。ぜひご連絡ください。

こどもサポートルーム「なないろ」は無料でご利用いただけます。
(なないろの各教室の場所は、裏面をご覧ください。)

こどもサポートルーム なないろ

長浜市教育センター
教育相談室 登校支援グループ
TEL 0749-74-3702
教育相談室HP
<https://www.city.nagahama.lg.jp/0000014282.html>

長浜市
長浜市教育委員会

教育相談室

発達支援グループより

発達支援グループでは、発達に課題のある、または、その傾向がある児童生徒に対して特性理解と支援方法を保護者の方や学校とともに探り、その取り組みを支援していきます。

発達障害による二次障害で不登校傾向になる子どももいますので、ケースによっては登校支援グループと連携しながら対応させていただきます。

相談の流れ

申し込み

- 電話でお申し込みください。対象は、長浜市立小中学校・義務教育学校在籍の児童生徒、および保護者、教育者です。



受付・予約

- お困りのことや心配ごとをうかがい、相談日時を決めます。
- 学校への訪問・児童生徒の観察、保護者の来室等について協議し、相談の進め方を決めます。



面接・相談

- お困りのことや心配ごとについて教育相談を行います。
- 学校と家庭の情報共有を確認し繋がりを大切にしながら進めます。

学級への適応が厳しいなあ・・・

困ったときは、**教育センターへ**

＊電話相談・来室相談

相談対応電話 月曜日～金曜日 8:30～17:15

＊学校訪問

相談内容によっては学校を訪問し、児童生徒の観察や訪問相談も行います。

＊発達検査

学校からの依頼に応じて、発達検査を行います。結果をもとに支援方法を提案します。

検査員に分かりやすい！
発達検査依頼書
アセスメントシートの書き方

主訴

(発達検査が必要と思われる事由)

- ・学年相応の学習が難しく、特に算数の文章問題や国語の読み取りに困難が見られる。
- ・ともだちとの関わりが難しく、一人でいることが多い。

「主訴」とは、「本人の課題となること」です。

課題の中でも 困り感が大きいものを2つ程度簡潔にまとめてください。

進路決定の資料とするため

最新の検査結果を得るため 等は、主訴とはいえません。

この主訴を受けて、アセスメント用紙には、具体的に困っている様子を書いてください。



学習面

聞く

・周りがざわついていると、他が気になり聞き落す。

話す

・1対1では会話ができるが、大勢の中では伝えたいことが話せない。

読む

・音読はできるが、書かれている内容を読み取ることが難しい。

生活面・行動面

注意・集中

気が散りやすい。
視写や計算など苦手な学習は特に集中が持続できない。

多動性・衝動性

衝動性あり。
不安な時はよく体が動いたり、喋ったりしてしまう。

対人関係

関わり方が自己中心的なため、周りの友達から距離を置かれることがある。